

*** 文京区就学支援シート（中学校）のご案内 ***

保護者の皆様へ

☆中学校就学に向けて

いよいよ中学校入学です。

期待に胸ふくらませながら入学準備をすすめていることと思います。

中学校入学にあたり、これまでのお子さんの成長の様子を振り返ってみて気になる点などがありましたら、保護者・学校・教育委員会が連携し解決していきましょう。

☆文京区就学支援シートをご活用ください。

文京区就学支援シートは、お子さんに必要と思われる支援や配慮等について伝え合い、お子さんが充実した学校生活を送ることができるようにするためのものです。

保護者が記入した後、在籍する小学校、その他関係機関（通級制学級・療育機関等）に記入してもらいます。

記入に当たっては、「就学支援シート作成の手引き」を参考にし、中学校入学後の指導・支援に役立つことをお知らせください。

☆中学校の指導に生かします。

作成後、文京区就学支援シートは、保護者から就学先の区立中学校または、都立特別支援学校に提出していただきます。

学校では、「文京区就学支援シート」をもとに、保護者と話し合い、適切な指導・支援の検討を行い、個別指導計画作成等に活用していきます。

「文京区就学支援シート」についてのお問い合わせ

文京区教育委員会教育推進部教育指導課 〒112-8555 文京区春日 1-16-21 文京シビックセンター 20 階
☎03-5803-1298(直)

* 文京区就学支援シートは、文京区のホームページからダウンロードすることができます。



就学支援シート作成の手引き

一人一人のお子さんの発達を大切に、中学校生活へのスムーズな移行を助け、個性に応じた適切な支援を行うために、参考となる手立てや指導・配慮点など、中学校就学後の教育的支援を考えるにあたってのアドバイスをお願いします。すべての欄を記入しようとなさなくて結構です。ポイントを教えてください。各項目の記入にあたっての観点や記入例は次のとおりです。

I 成長・発達の様子【在籍する小学校、その他関係機関・保護者が記入】

☆お子さんの良いところ、伸びたところ、できるところ、得意なこと、好きなことなど

1 身体及び運動面

- 該当項目・内容－身体全体の動き、手・足の動き、巧緻性、聴力、視力・言語、健康面、姿勢保持、平衡感覚、運動能力、その他
- 例
- ・時間に余裕をもたせて取り組ませることで、身の回りのことは一人で行うことができる。また、パターン化して覚えたことや身に付けたことは、素早くできるようになった。
 - ・体育の授業で、音楽にあわせた表現活動等を取り入れながら、身体を動かす機会を増やしたことで運動機能が高められた。

2 日常生活

- 該当項目・内容－身辺自立、挨拶、偏食、用具の使用・活用、家庭や学校での役割、金銭の活用、その他
- 例
- ・一日の生活リズムをつかみ、ほとんどのことを支援なしで行うことができる。しかし新しい場面や、予定が変わった時には、気持ちが不安定になりやすい。事前に変更を伝え、理解しやすく支援カード（絵、写真、文字等）を示すことで、安心して取り組めるようになった。
 - ・学級で、「〇〇の係りの仕事」に責任をもって取り組ませていくことで、学級集団への参加意欲が高まり、学校生活を楽しく過ごすことができた。

3 社会性

- 該当項目・内容－対人関係、集団参加、指示理解、公共機関の利用、感情のコントロール、危機回避、その他
- 例
- ・大きな声で、誰に対しても元気にあいさつをすることができるが、気持ちを伝えることは苦手で、慣れた人との会話に限られる。役割や場面を設定して練習することで、自分の気持ちを伝えることができるようになってきた。
 - ・ルールの理解ができ、ゲームを楽しむことができるようになってきた。自分が負けた時の気持ちがおさえられるよう、楽しい体験を数多く積み重ねたことで、負けたり、勝ったりするゲームの良さが受け入れられるようになってきた。
 - ・他の人のことをよく見ているが、かわりもちにくい。「〇〇さんに～を持って行って」など、教師が声をかけて実践させ、成功体験を積み重ねていくことで、積極的なかわりができるようになってきた。

4 学習面

- 該当項目・内容－発声・読む力・書く力・聞く力、計算力、推論する力、図形、音楽、図工、学習への興味関心、その他
- 例
- ・漢字にはルビをつけたり、行間を広くしたり、文字を大きくすることで、文章を読む力はついてきた。さらにその意味が理解できるように、文を短く区切り、内容を絵・動作や写真などで示しながら、意味としてとらえることができるようになってきた。
 - ・算数では、具体物を用いて、視覚的な情報を処理する作業を通して 20 までの 2 桁の四則計算ができるようになってきた。
 - ・〇〇に興味をもち、□□の教科の学習では、図鑑、資料集などを活用して学習することができた。

5 交流及び共同学習

- 該当項目・内容－授業への参加、通常の学級との交流、行事への参加、委員会やクラブ活動、その他
- 例
- ・〇〇委員会や〇〇クラブ活動では、通常の学級の友達と協力して活動することができ、楽しい学校生活を送ることができた。
 - ・〇〇の行事では、通常の学級に入りほとんど支援なしで活動することができた。困った時などに、教師や支援員だけでなく、友達に聞いたり助けてもらったりすることができるようになってきた。

6 性格・行動の特徴

- 該当項目・内容－趣味、性格、得意、不得意な面、習い事、その他
- 例
- ・一つのことをしっかり覚え、身に付けたことは、ていねいに取り組み、間違いなく処理することができる。
 - ・大きな音や悲鳴のような声に敏感で嫌がるので、耳栓を用意しておき適宜利用した。
 - ・親近感を表わす意味でも、体に触れられることを嫌がる傾向がある。整列の時は、一番後列にするなど配慮した。
 - ・人の前で話をするときは、緊張感が強くなるので、前もって練習をしたり同じような体験を繰り返したりし、慣れることで自信をもってできるようになってきた。

Ⅱ 指導内容・方法の工夫や必要な配慮等に関すること【在籍する小学校、その他関係機関が記入】

- ☆お子さんの成長・発達を支援し、指導する上で、小学校が特に大切にしてきたこと
- ☆中学校の先生方が、一貫性をもって対応することが大切と思われること
- ☆教材、教具の工夫や指導内容、言葉かけや具体的な支援と指導方法、教育環境の整備など

Ⅲ 中学校就学後の生活に関する家庭の意向・要望・期待など【保護者が記入】

- ☆保護者の願いや大切にしたいこと、学校に伝えたい内容

■その他

- ☆在籍する小学校、その他関係機関（通級制学級・療育機関等）が作成した資料を添付することもできます。
- ☆医療機関等の他の機関からの引継ぎで必要と思われることがありましたら、あわせてご提出ください。

■作成年月日は、保護者と小学校等が記入後、保護者とともに確認した日付をご記入ください。

■就学支援シートが完成したら、保護者から就学先の学校に提出します。あらかじめ、学校にご連絡の上、お持ちください。

■提出時または提出後に、中学校において面談の機会を設けさせていただく場合があります。

* 特別支援学級・特別支援教室への入級及び特別支援学校への就学は、就学相談を受けることが必要です。

相談をご希望の方は、事前に下記までお問い合わせの上、おいでください。

【就学相談の問い合わせ】 文京区教育委員会教育推進部教育指導課 ☎03-5803-1298（直）

* 学校及び教育委員会は「就学支援シート」の作成及び活用の過程を通じ、個人情報の保護・管理を徹底します。

氏名

生年月日

I 成長・発達の様子

区分		
	小学校等記入欄	保護者記入欄
① 身体及び運動面		
② 日常生活		
③ 社会性		
④ 学習面		
⑤ 交流及び共同学習		
⑥ 性格・行動の特徴		

Ⅱ 指導内容・方法の工夫や必要な配慮等に関すること（大切にしてきた内容や方法）

*** 就学後も引き続き教育的支援が必要と思われる内容や必要な配慮に関すること**

- 使用教材や教具、環境設定やはたらきかけの工夫、支援のコツ、効果のあった指導法など
○これまでの指導により伸びたこと、これからも伸ばしてほしいこと

* 小学校等記入

--

Ⅲ 中学校就学後の生活に関する家庭の意向・要望・期待など

* 保護者が記入します

■伸ばしたい力 (家庭・学校) ■将来についての考え (現在考えている進路等) ■地域との関わり等 ■その他	
--	--

* 下記の専門機関の資料を添付することに同意します。

添付書類
(専門機関名)

保護者氏名

■作成年月日 年 月 日

■小学校名・住所・電話番号

■記入担当者

中学校記録欄

確認印	校長	副校長	コーディネーター	担任

【メモ】 ～中学校に提出の際等にご活用ください～

提出先

提出日 年 月 日

【学校】

(連絡先)

